

令和3年度 事業計画・収支予算書
公益財団法人福武財団

I. 令和3年度事業計画

1. 令和3年度の基本メッセージ

- 1) 強靱で持続可能な組織へ
- 2) 選択と集中によるコア事業の維持・推進
- 3) 基本理念はぶらさず、より外部に開かれたベネッセアートサイト直島へ
- 4) アートの役割を深化・追求し、社会へのメッセージを発信

2. 令和3年度の事業方針

- 1) 広報・営業の再構築
- 2) 商品・プログラムの拡充と来館者増加施策
- 3) 経営・運営体制の再構築
- 4) ガバナンス体制の強化
- 5) 人材育成・人事制度の再構築
- 6) アートの役割の深化・追求
- 7) 重要なアートコンテンツの維持および開発
- 8) 地域振興への貢献
- 9) アジアへの理念展開の推進
- 10) コロナ禍の中での大型投資一時保留

3. 令和3年度の事業計画

定款第4条に掲げる事業として、下記の事業を行う。

A 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、また、海外からのインバウンド顧客が完全に停止となること等により、美術館の来館者は大幅な減少となった。令和3年度も、引き続きこの影響を受けるものの、リカバリー戦略など各種施策の実施により、来館者の回復・増加を図っていく。これにより、来館者数は通常年の7割程度の計画であるが、公益性の観点から、より多くのお客様に作品をご鑑賞いただけるよう、来館者数の増加に努めていく。

①. 「地中美術館」の運営

- 年間約300日を開館し、12万7千人の来館者を迎える。予約制の中、来館者数の回復と安定運営を目指していく。

②. 「李禹煥美術館」の運営

- 年間約300日を開館し、3万6千人の来館者を迎える。

③. 「直島銭湯『I♥湯』」の運営

- 年間約300日を開館し、2万3千人の来館者を迎える。

- ④. 「ANDO MUSEUM」の運営
□年間約 300 日を開館し、3 万 8 千人の来館者を迎える。
- ⑤. 「宮浦ギャラリー六区」の運営
□瀬戸内「 」資料館としての無料展示イベントの開催を予定している。
- ⑥. 「The Naoshima Plan「水」」の運営
□年間約 70 日を開館予定。直島地域住民と来島者の相互交流を促進していく。
- ⑦. 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理
□(株)ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図る。
- ⑧. 「女根／めこん」の運営
□令和 3 年度は休館とする。
- ⑨. レアンドロ作品「不在の存在」の運営
□令和 3 年度は休館とする。
- ⑩. 「犬島精錬所美術館、犬島『家プロジェクト』、犬島 暮らしの植物園」の運営
□年間約 160 日を開館し、1 万 2 千人の来館者を迎える。
これらの美術施設を核にしつつ、地域再生の活動にも取り組んでいく。
- ⑪. 「豊島美術館」の運営
□年間約 280 日を開館し、4 万 2 千人の来館者を迎える。
- ⑫. 「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営
□令和 3 年度は休館とする。
- ⑬. 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営
□年間約 280 日を開館し、1 万 9 千人の来館者を迎える。
- ⑭. 「豊島横尾館」の運営
□年間約 280 日を開館し、1 万 9 千人の来館者を迎える。
- ⑮. 「豊島八百万ラボ」の運営
□令和 3 年度は休館とする。次期に向けての作品制作の年とする。
- ⑯. 「針工場」の運営
□年間約 80 日を開館し、2 千人の来館者を迎える。次期作品展開も実施。
- ⑰. 「イル ヴェント」の運営
□令和 3 年度も休館継続予定。
- ⑱. 「福武ハウス」の運営
□令和 3 年度は、鑑賞ツアー形式で来館者を迎える。交流イベントも予定。
- ⑲. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」
ア. 「地中ストア」の運営
□オリジナル商品と地中美術館に関係する作家及び安藤忠雄の書籍を販売する。
イ. 「李禹煥美術館ストア」の運営
□オリジナル商品と関係する作家及び安藤忠雄に関する書籍類を販売する。

ウ. 「直島銭湯 I ♥湯ストア」の運営

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売する。

エ. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売する。

オ. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

関連する作家の商品・書籍類を販売する。

カ. 「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する書籍類を販売する（休館予定）。

キ. 「レアンドロカフェ」の運営

カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供する（休館予定）。

ク. 「犬島ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と犬島の施設に関係する作家の書籍類を販売する。

カフェにおいては飲み物を中心とした軽食を提供する。

また、犬島くらしの植物園においてもストア&カフェの運営を予定。

ケ. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売する。

カフェにおいては豊島で取れた食材を中心に、飲み物及び軽食を提供する。

コ. 「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売する。

サ. 「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と関係する横尾忠則に関する書籍類を販売する。

シ. 「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売する（休館予定）。

ス. 「針工場ストア」の運営

大竹伸朗に関するオリジナル商品を販売する。

セ. 「福武ハウスストアと福田アジア食堂」の運営

アジア関連商品と関連する書籍類を販売する。

食堂においてはアジアと地元の食文化を紹介した飲み物と軽食を提供する。

ソ. 「地中カフェスペース」の運営委託

(株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図る。

⑳. 美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進める。

特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、国吉康雄に関連する美術研究を推進する。

岡山大学国吉康雄寄付講座（国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座）が第3期（令和3年4月から令和6年3月）として継続され、令和3年度は、

その初年度となる。具体的な活動内容としては、次のとおり。

- ・岡山大学国吉康雄寄付講座への寄付による国吉研究の継続
(令和3年度は、5百万円の寄付金支払いを予定)
- ・企画展等での国吉作品展示による顕彰活動の継続
- ・作品維持のためのメンテナンス実施
- ・その他、若手国吉研究者の育成・発掘など

②1. アーカイブの整備継続

- 美術品台帳、美術保存資料、動画ストレージなど、美術館としてのアーカイブ機能を整備し充実を図っていく。

アーカイブを活用した付加価値の高い体験プログラムも推進する。

②2. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

- 美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。

これらを顕在化させた体験プログラムの充実等により地域振興につなげる活動を推進する。ベネッセアートサイト直島一体としての景観保全も推進する。

②3. 当財団美術施設としてのベネッセハウス内作品展示

- ベネッセハウス内の一部スペースを賃借することにより、ベネッセハウスミュージアムの一部を当財団の美術施設として運営する。

これにより、展示場所の拡大を図り、公益性の観点から、当財団所有作品の積極的な公開を行う。

②4. 直島における（仮称）新美術館の計画・準備

- 直島に（仮称）新美術館の建設を準備中。建築家安藤忠雄氏の設計による美術館でアジア系作品を中心とした展示を予定。ただし、令和3年度はコロナ禍の中での大型投資は控える方針に従い、今年度内の用地取得と着工は見合わせる。

B 美術に関するイベント並びに国際交流事業

①. シンポジウムの開催

- 瀬戸内国際芸術祭 2022 に向け、アジアアートプラットフォーム関連パートナーとのオンラインフォーラムを予定している。
- また、その他のオンラインフォーラムも各種計画中。

②. 教育普及及びプログラムの実施

ア. キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施する。

イ. プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリートツアーを開催。

ミュージアムスタッフとともに巡る、美術館を体験するプログラムを提供する。

ウ. ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部の作品において開催。

日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供する。

エ. 地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

当財団のアートコンテンツと現存する地域コンテンツを一体化させた体験価値を向上させるプログラムを企画し提供する。

オ. 美術施設を中心とした教育プログラム（対象：一般）

当財団の美術施設にあるアートコンテンツを中心に、教育プログラムを開発し提供する。オンラインでの提供も計画中。

③. 「米&食プロジェクト」の実施

□直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供する。豊島においては、「食とアート」に結び付く活動とする。

④. 国際交流

□福武ハウスにおいて、アジア各国との国際交流を図っていく。また、これらの活動を通じて、アジアとのネットワーク強化を図っていく。

□中国においては、China Global Philanthropy Institute をはじめとする社会貢献団体への協力等を通じて、文化・芸術による地域振興となる直島メソッドとその背景にある考え方の普及を図っていく。

□文化庁の推進する大竹伸朗展（計画中、於：米国・日本）を支援する。

大竹伸朗氏は、当財団ゆかりのアーティストであり、日本のアートを海外に発信する試みに賛同し参加することで、アートによる国際交流の促進につなげる。

⑤. 瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催（共催）

□瀬戸内国際芸術祭 2022 の概要

名称：瀬戸内国際芸術祭 2022（Setouchi Triennale 2022）

テーマ：「海の復権」

開催期間：

春：2022年4月14日（木）～5月18日（水） 35日間

夏：2022年8月5日（金）～9月4日（日） 31日間

秋：2022年9月29日（木）～11月6日（日） 39日間

会期総計： 105日間

会場：直島、犬島、豊島、男木島、女木島、小豆島、大島、高松港周辺
宇野港周辺、（春）沙弥島、（秋）本島、粟島、伊吹島、高見島

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長：浜田 恵造（香川県知事）

名誉会長：真鍋 武紀（前香川県知事）

総合プロデューサー：福武 総一郎

総合ディレクター：北川 フラム

2022年4月14日の芸術祭開幕に向けて準備を進める。

□瀬戸内国際芸術祭 2022 に向けての美術作品設置と既存施設の大規模修繕
瀬戸内国際芸術祭 2022 の新規美術作品設置等を行う。令和3年度の芸術祭関連支出予算は227,950千円。これには、瀬戸内国際芸術祭実行委員会への支払負担金99,750千円を含む。また瀬戸内国際芸術祭 2022 を迎えるにあたり、修繕積立資産を取り崩し、既存美術施設の大規模修繕を実施する。また、犬島では、ADSL通信回線が通常実務に支障を来すほど遅く、その改善を図るため光回線を敷設する工事を行う。117,000千円を負担する予定。大規模修繕全体の予算規模は176,803千円の予定。

C 美術に関する情報提供並びに出版事業

①. 情報提供事業

□当財団のホームページ以外に該当地域全域をカバーするウェブサイト「ベネッセアートサイト直島」を(株)ベネッセホールディングスと共同で運営している。また、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等のソーシャルメディアを活用した情報発信も継続する。

□広報活動分野においては、コンテンツとメディアの最適な組み合わせを再整理するとともにWEBコンテンツの充実を図っていく。

また、海外へは、アジアを中心に幅広く情報発信を進めていく。

②. 広報誌及び美術に関する出版物の刊行

ア. 広報誌の発行

□広報誌を年4回発行する。

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内外に向けて発信する。

イ. カタログ・ハンドブック等の刊行

□各施設のカタログ・ハンドブック等の刊行を行う。

各施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物とする。

D 地域振興助成事業

<地域振興助成の内容>

地域住民と地域に関わる人々の創造的で文化的な表現活動を通じた、まちづくり、地域産業おこし、関係人口の増加や移住・定住促進、およびそれらの事業や活動等に取り組む人々を支援し、活力あふれ、個性豊かな地域社会の実現と発展に寄与することを目的として、助成を行う。

① アートによる地域振興助成

ア. 事業助成

助成の目的

日本国内におけるアートプロジェクトの立ち上げと継続的發展を目的として助成を行う。

助成対象内容

日本国内において実施される事業で、以下の要件を満たすもの。

- ・ 現代アートに代表される新しい表現方法を用いた事業であること
- ・ 歴史・地理・風土・民俗など、地域資源をいかした事業であること
- ・ 地域の振興・發展に資する事業であること
- ・ 地域住民と協働で行っている事業であること
- ・ 継続性かつ發展性のある事業であること
- ・ 営利を目的としない事業であること

助成対象者

非営利団体、個人ほか当財団において適当と認めるもの。

令和 3 年度予算

事業助成総額で 20,000 千円

アートによる地域振興助成に係る「成果発表会」

令和 3 年度は、オンラインでの中間報告会と成果発表会の実施を予定している。

イ. 研修助成

助成の目的

アートプロジェクトの運営に関わる人に学びの機会を提供することにより、各地のアートプロジェクトの継続・發展に寄与することを目的として助成を行う。

助成対象内容

- ・ 日本国内の芸術祭、アートプロジェクトの現場で学ぶために必要とされる研修費、交通費、宿泊費等の費用を助成する。
- ・ アートプロジェクトに関する研修プログラム等への参加に必要とされる、研修費、交通費、宿泊費等の費用を助成する。

助成対象者

- ・ 福武財団の助成を受けたアートプロジェクトでの活動経験があり、今後のプロジェクトの継続・發展への寄与が期待される人。
- ・ 日本国内で実施される芸術祭、アートプロジェクトを海外から学びに来る人。
- ・ 上記の人を対象とするため、非公募とする（選考会は設ける）。

令和 3 年度予算

研修助成総額で 2,000 千円

② 瀬戸内海地域振興助成

□助成の目的

瀬戸内海地域の地域文化振興とそれによる関係人口の増加、移住・定住促進を目的とする。

□助成対象内容

瀬戸内海地域の文化力向上に資する、伝統芸能・工芸の振興、地元産品を活かした地域産業おこし、古民家の改修・保存・活用等の活動、およびそれらの活動のバックボーンとなる調査・研究に助成する。

□助成対象者

非営利団体、個人ほか当財団において適当と認めるもの。

□令和3年度予算

瀬戸内海地域振興助成総額で、7,000千円

□瀬戸内海地域振興助成に係る「成果発表会」

令和3年度は、オンラインでの中間報告会と成果発表会の実施を予定している。

E 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行う。

□令和3年度共催支援（3件）

①. 瀬戸内国際芸術祭 2022 の企画・実施

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、活動を積極的に支援する。助成金支払いはなし。

②. 大地の芸術祭（越後妻有アートトリエンナーレ）

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、活動を積極的に支援する。

③. 豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会の活動を積極的に支援する。

令和3年度予算自主・共催助成分：14,000千円（上記2件（②、③）合計）

なお、「瀬戸内全誌」編纂事業への助成は令和元年度をもって終了となった。

F 地域振興のためのファンドレイジング

①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられ、これを支援し、紹介するファンドレイジングサイトを運営する。

②. 豊島唐櫃 棚田プロジェクトに関するファンドレイジング

豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進し、豊島棚田収穫祭にて、ファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を支援する。

G 管理部門の計画

- ① . コロナの影響長期化予測に立った財政スキームの再検討・実施
- ② . 基本財産一部取崩による財政支援の実施
- ③ . 芸術祭 2022 と大規模修繕実施に向けたプロジェクト毎予算管理の徹底
- ④ . 採用、研修、育成、福利厚生面の強化継続
- ⑤ . 職場環境、住環境整備は継続するも、直島寮建設は一時保留
- ⑥ . 人事制度の再構築とコンプライアンス強化
- ⑦ . Web 会議等を活用した理事会・評議員会開催による公益法人運営の実行
- ⑧ . ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体運営の推進

上記の事業等を実施するにあたり「令和 3 年度収支予算」は次項に記載の通り。

Ⅱ. 令和3年度収支予算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1-1) 収支予算書（正味財産増減ベース）

（単位：円）

科 目	令和3年度 当期予算①	令和2年度 前期2次修正予算②	増減（①－②）
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
①. 基本財産運用益	[348,588,157]	[331,601,359]	[16,986,798]
基本財産受取利息	48,308,157	56,752,499	△ 8,444,342
基本財産受取配当金	300,280,000	274,848,860	25,431,140
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[597,165,001]	[269,135,271]	[328,029,730]
④. 受取補助金	[0]	[15,988,406]	[△ 15,988,406]
⑤. 受取寄附金	[708,232,500]	[427,097,656]	[281,134,844]
受取寄附金	63,480,000	63,942,861	△ 462,861
受取寄附金振替額	644,752,500	363,154,795	281,597,705
⑥. 雑収益	[812,033]	[544,530]	[267,503]
受取利息	2,033	1,736	297
雑収益	810,000	542,794	267,206
経常収益計	1,654,797,691	1,044,367,222	610,430,469
（2）経常費用			
①. 事業費	[1,487,427,502]	[1,064,443,710]	[422,983,792]
期首棚卸高	96,661,089	85,766,739	10,894,350
仕入高	69,845,672	48,873,895	20,971,777
期末棚卸高	△ 93,321,494	△ 96,661,089	3,339,595
給与手当	333,731,242	302,695,391	31,035,851
臨時雇賃金	86,094,200	65,209,385	20,884,815
退職給付費用	8,723,260	5,940,942	2,782,318
福利厚生費	64,651,820	57,105,701	7,546,119
旅費交通費	19,202,780	6,406,400	12,796,380
通信運搬費	14,974,675	16,546,977	△ 1,572,302
什器備品費	400,000	711,680	△ 311,680
消耗品費	13,965,400	8,635,859	5,329,541
減価償却費	166,101,500	171,710,670	△ 5,609,170
修繕費	106,665,443	83,621,128	23,044,315
印刷製本費	6,396,550	1,813,704	4,582,846
燃料費	2,300,000	1,858,128	441,872
光熱水料費	28,289,032	23,979,070	4,309,962
賃借料	33,719,665	33,359,588	360,077
保険料	10,382,466	10,438,568	△ 56,102
諸謝金	16,565,930	19,210,258	△ 2,644,328
租税公課	50,048,163	14,344,939	35,703,224
負担金	218,450,000	0	218,450,000
助成費	43,000,000	37,412,070	5,587,930
寄附金	5,000,000	65,042,667	△ 60,042,667
宣伝広告費	74,887,700	28,653,332	46,234,368
会議費	11,882,692	7,720,586	4,162,106
交際費	2,262,638	747,422	1,515,216
委託費	80,238,994	54,013,744	26,225,250
雑費	16,308,085	9,285,956	7,022,129

1 - 2) 収支予算書 (正味財産増減ベース)

(単位: 円)

科 目	令和3年度 当期予算①	令和2年度 前期2次修正予算②	増減 (①-②)
②. 管理費	[135,821,496]	[117,873,450]	[17,948,046]
役員報酬	1,100,000	800,000	300,000
給与手当	69,415,104	56,334,304	13,080,800
臨時雇賃金	2,520,000	2,400,100	119,900
退職給付費用	1,949,200	1,175,215	773,985
福利厚生費	11,978,880	10,400,713	1,578,167
旅費交通費	5,379,120	3,126,343	2,252,777
通信運搬費	5,993,200	4,848,741	1,144,459
消耗品費	1,000,000	1,323,359	△ 323,359
減価償却費	7,253,753	7,671,245	△ 417,492
修繕費	1,204,000	1,385,954	△ 181,954
印刷製本費	760,000	976,038	△ 216,038
燃料費	360,000	253,761	106,239
光熱水料費用	2,196,000	1,560,033	635,967
賃借料	3,815,520	3,863,098	△ 47,578
保険料	547,969	348,832	199,137
諸謝金	3,567,250	3,438,854	128,396
租税公課	303,500	909,754	△ 606,254
会議費	2,794,000	5,260,690	△ 2,466,690
交際費	836,000	1,080,625	△ 244,625
委託費	10,892,000	8,827,100	2,064,900
雑費	1,956,000	1,388,691	567,309
経常費用計	1,623,248,998	1,182,317,160	440,931,838
評価損益等計上前当期経常増減額	31,548,693	△ 137,949,938	169,498,631
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	31,548,693	△ 137,949,938	169,498,631
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
①. 有価証券売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	31,548,693	△ 137,949,938	169,498,631
一般正味財産期首残高	6,033,410,507	6,171,360,445	△ 137,949,938
一般正味財産期末残高	6,064,959,200	6,033,410,507	31,548,693
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	52,029,894	60,510,302	△ 8,480,408
基本財産受取配当金	279,900,000	279,900,000	0
特定資産受取利息	29,754	29,754	0
受取寄附金	0	214,768,860	△ 214,768,860
一般正味財産への振替額	△ 885,340,657	△ 586,756,154	△ 298,584,503
当期指定正味財産増減額	△ 553,381,009	△ 31,547,238	△ 521,833,771
指定正味財産期首残高	41,223,949,474	41,255,496,712	△ 31,547,238
指定正味財産期末残高	40,670,568,465	41,223,949,474	△ 553,381,009
III 正味財産期末残高	46,735,527,665	47,257,359,981	△ 521,832,316

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[211,408,157]	[211,408,157]	[137,180,000]	[0]	[348,588,157]
基本財産受取利息	48,308,157	48,308,157	0	0	48,308,157
基本財産受取配当金	163,100,000	163,100,000	137,180,000	0	300,280,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0	0	0
③. 事業収益	[597,165,001]	[597,165,001]	[0]	[0]	[597,165,001]
④. 受取補助金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
⑤. 受取寄附金	[708,232,500]	[708,232,500]	[0]	[0]	[708,232,500]
受取寄附金	63,480,000	63,480,000	0	0	63,480,000
受取寄附金振替額	644,752,500	644,752,500	0	0	644,752,500
⑥. 雑収益	[812,033]	[812,033]	[0]	[0]	[812,033]
受取利息	2,033	2,033	0	0	2,033
雑収益	810,000	810,000	0	0	810,000
経常収益計	1,517,617,691	1,517,617,691	137,180,000	0	1,654,797,691
(2) 経常費用					
①. 事業費	[1,487,427,502]	[1,487,427,502]		[0]	[1,487,427,502]
期首棚卸高	96,661,089	96,661,089		0	96,661,089
仕入高	69,845,672	69,845,672		0	69,845,672
期末棚卸高	△ 93,321,494	△ 93,321,494		0	△ 93,321,494
給与手当	333,731,242	333,731,242		0	333,731,242
臨時雇賃金	86,094,200	86,094,200		0	86,094,200
退職給付費用	8,723,260	8,723,260		0	8,723,260
福利厚生費	64,651,820	64,651,820		0	64,651,820
旅費交通費	19,202,780	19,202,780		0	19,202,780
通信運搬費	14,974,675	14,974,675		0	14,974,675
什器備品費	400,000	400,000		0	400,000
消耗品費	13,965,400	13,965,400		0	13,965,400
減価償却費	166,101,500	166,101,500		0	166,101,500
修繕費	106,665,443	106,665,443		0	106,665,443
印刷製本費	6,396,550	6,396,550		0	6,396,550
燃料費	2,300,000	2,300,000		0	2,300,000
光熱水料費	28,289,032	28,289,032		0	28,289,032
賃借料	33,719,665	33,719,665		0	33,719,665
保険料	10,382,466	10,382,466		0	10,382,466
諸謝金	16,565,930	16,565,930		0	16,565,930
租税公課	50,048,163	50,048,163		0	50,048,163
負担金	218,450,000	218,450,000		0	218,450,000
助成費	43,000,000	43,000,000		0	43,000,000
寄附金	5,000,000	5,000,000		0	5,000,000
宣伝広告費	74,887,700	74,887,700		0	74,887,700
会議費	11,882,692	11,882,692		0	11,882,692
交際費	2,262,638	2,262,638		0	2,262,638
委託費	80,238,994	80,238,994		0	80,238,994
雑費	16,308,085	16,308,085		0	16,308,085

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[135,821,496]	[0]	[135,821,496]
役員報酬			1,100,000	0	1,100,000
給与手当			69,415,104	0	69,415,104
臨時雇賃金			2,520,000	0	2,520,000
退職給付費用			1,949,200	0	1,949,200
福利厚生費			11,978,880	0	11,978,880
旅費交通費			5,379,120	0	5,379,120
通信運搬費			5,993,200	0	5,993,200
消耗品費			1,000,000	0	1,000,000
減価償却費			7,253,753	0	7,253,753
修繕費			1,204,000	0	1,204,000
印刷製本費			760,000	0	760,000
燃料費			360,000	0	360,000
光熱水料費			2,196,000	0	2,196,000
賃借料			3,815,520	0	3,815,520
保険料			547,969	0	547,969
諸謝金			3,567,250	0	3,567,250
租税公課			303,500	0	303,500
会議費			2,794,000	0	2,794,000
交際費			836,000	0	836,000
委託費			10,892,000	0	10,892,000
雑費			1,956,000	0	1,956,000
経常費用計	1,487,427,502	1,487,427,502	135,821,496	0	1,623,248,998
評価損益等調整前当期経常増減額	30,190,189	30,190,189	1,358,504	0	31,548,693
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	30,190,189	30,190,189	1,358,504	0	31,548,693
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	30,190,189	30,190,189	1,358,504	0	31,548,693
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	30,190,189	30,190,189	1,358,504	0	31,548,693
一般正味財産期首残高	5,769,565,900	5,769,565,900	263,844,607	0	6,033,410,507
一般正味財産期末残高	5,799,756,089	5,799,756,089	265,203,111	0	6,064,959,200
II 指定正味財産増減の部					
基本財産受取利息	52,029,894	52,029,894	0	0	52,029,894
基本財産受取配当金	250,720,000	250,720,000	29,180,000	0	279,900,000
特定資産受取利息	29,754	29,754	0	0	29,754
受取寄附金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 856,160,657	△ 856,160,657	△ 29,180,000	0	△ 885,340,657
当期指定正味財産増減額	△ 553,381,009	△ 553,381,009	0	0	△ 553,381,009
指定正味財産期首残高	33,676,305,874	33,676,305,874	7,547,643,600	0	41,223,949,474
指定正味財産期末残高	33,122,924,865	33,122,924,865	7,547,643,600	0	40,670,568,465
III 正味財産期末残高	38,922,680,954	38,922,680,954	7,812,846,711	0	46,735,527,665

勘定科目		令和3年度 当期予算①	令和2年度 前期2次修正予算②	前期比較 増減①-②	備考 (主な増減理由)
大科目	中科目				
I	事業活動収支の部				
1.	事業活動収入				
①	基本財産運用収入	439,929,894	448,410,302	△ 8,480,408	資金運用収入の減少
②	特定資産運用収入	29,754	29,754	0	
③	事業収入	597,165,001	269,135,271	328,029,730	来館者数の回復計画に伴う
④	補助金収入	0	15,988,406	△ 15,988,406	
⑤	寄附金収入	63,480,000	278,711,721	△ 215,231,721	当期:横尾館土地建物現物寄付受入
⑥	雑収入	812,033	544,530	267,503	
	事業活動収入計	1,101,416,682	1,012,819,984	88,596,698	
2.	事業活動支出				
①	事業費支出				
	仕入高	69,845,672	48,873,895	20,971,777	物販回復に伴う仕入増
	給与手当支出	333,731,242	302,695,391	31,035,851	要員充足による給与手当の増加
	臨時雇賃金支出	86,094,200	65,209,385	20,884,815	来館者回復に伴うアルバイトの増加
	退職給付支出	8,723,260	5,940,942	2,782,318	
	福利厚生費支出	64,651,820	57,105,701	7,546,119	給与・賃金の増加に伴うもの
	旅費交通費支出	19,202,780	6,406,400	12,796,380	制限緩和による出張旅費の増加
	通信運搬費支出	14,974,675	16,546,977	△ 1,572,302	
	什器備品費支出	400,000	711,680	△ 311,680	
	消耗品費支出	13,965,400	8,635,859	5,329,541	豊島美術館の玉・皿の一括購入による
	修繕費支出	106,665,443	83,621,128	23,044,315	大規模修繕の実施による
	印刷製本費支出	6,396,550	1,813,704	4,582,846	ブック・パンフの印刷物増加
	燃料費支出	2,300,000	1,858,128	441,872	
	光熱水料費支出	28,289,032	23,979,070	4,309,962	臨時休館なしを想定
	賃借料支出	33,719,665	33,359,588	360,077	
	保険料支出	10,382,466	10,438,568	△ 56,102	
	諸謝金支出	16,565,930	19,210,258	△ 2,644,328	科目の振り替わりによる
	租税公課支出	50,048,163	14,344,939	35,703,224	事業収入増加に伴う消費税他の増加
	支払負担金支出	218,450,000	0	218,450,000	芸術祭実行委負担金、犬島光回線負担金他
	助成費支出	43,000,000	37,412,070	5,587,930	前年に助成金の返金あり
	寄附金支出	5,000,000	65,042,667	△ 60,042,667	前年にマシ・防護服の現物寄付あり
	宣伝広告費支出	74,887,700	28,653,332	46,234,368	営業活動強化と芸術祭作品展示費増
	会議費支出	11,882,692	7,720,586	4,162,106	人材育成の強化推進
	交際費支出	2,262,638	747,422	1,515,216	
	委託費支出	80,238,994	54,013,744	26,225,250	新収蔵庫移転準備、システム導入、コンサル他
	雑費支出	16,308,085	9,285,956	7,022,129	クレジット・オンライン予約手数料増
	小計	1,317,986,407	903,627,390	414,359,017	
②	管理費支出				
	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	1,100,000	800,000	300,000	
	給与手当支出	69,415,104	56,334,304	13,080,800	要員充足による給与手当の増加
	臨時雇賃金支出	2,520,000	2,400,100	119,900	
	退職給付支出	1,949,200	1,175,215	773,985	
	福利厚生費支出	11,978,880	10,400,713	1,578,167	
	旅費交通費支出	5,379,120	3,126,343	2,252,777	制限緩和による出張の戻りを想定
	通信運搬費支出	5,993,200	4,848,741	1,144,459	
	消耗品費支出	1,000,000	1,323,359	△ 323,359	
	修繕費支出	1,204,000	1,385,954	△ 181,954	
	印刷製本費支出	760,000	976,038	△ 216,038	
	燃料費支出	360,000	253,761	106,239	
	光熱水料費支出	2,196,000	1,560,033	635,967	
	賃借料支出	3,815,520	3,863,098	△ 47,578	
	保険料支出	547,969	348,832	199,137	
	諸謝金支出	3,567,250	3,438,854	128,396	
	租税公課支出	303,500	909,754	△ 606,254	
	会議費支出	2,794,000	5,260,690	△ 2,466,690	前年に採用成功報酬あり
	交際費支出	836,000	1,080,625	△ 244,625	
	委託費支出	10,892,000	8,827,100	2,064,900	社内株主-アルバイト準備他
	雑費支出	1,956,000	1,388,691	567,309	
	小計	128,567,743	110,202,205	18,365,538	
	事業活動支出計	1,446,554,150	1,013,829,595	432,724,555	
	事業活動収支差額	△ 345,137,468	△ 1,009,611	△ 344,127,857	

3-2) 収支予算書(収支ベース)

(単位:円)

勘定科目		令和3年度 当期予算①	令和2年度 前期2次修正予算②	前期比較 増減①-②	備考 (主な増減理由)	
大科目	中科目					
II	投資活動収支の部					
1.	投資活動収入					
①	基本財産取崩収入	基本財産取崩収入	240,000,000	302,000,000	△ 62,000,000	基本財産取崩の継続(金額縮小)
②	特定資産取崩収入	芸術祭事業積立資産取崩収入	227,950,000	0	227,950,000	芸術祭実施資金の取り崩し
	特定資産取崩収入	修繕積立資産取崩収入	176,802,500	22,154,795	154,647,705	大規模修繕実施資金の取り崩し
	特定資産取崩収入	美術館事業積立資産取崩収入	0	0	0	
	特定資産取崩収入	助成事業積立資産取崩収入	0	39,000,000	△ 39,000,000	前年に助成積立資産の取り崩しあり
	特定資産取崩収入	事務所建設積立資産取崩収入	0	0	0	
	投資活動収入計		644,752,500	363,154,795	281,597,705	
2.	投資活動支出					
①	基本財産取得支出	基本財産取得支出	3,721,737	3,757,803	△ 36,066	
②	その他固定資産取得支出	作品・建物他購入支出	206,235,000	28,518,100	177,716,900	土地・建物現物寄付受入、新美術館準備他
③	特定資産取得支出	芸術祭事業積立資産繰入支出	41,147,918	36,747,918	4,400,000	
	特定資産取得支出	助成事業積立資産繰入支出	1,836	1,836	0	
	特定資産取得支出	修繕積立資産繰入支出	46,500,000	51,100,000	△ 4,600,000	
	特定資産取得支出	美術館事業積立資産繰入支出	0	240,000,000	△ 240,000,000	美術館事業積立への積み立て減少
	特定資産取得支出	事務所建設積立資産繰入支出	0	0	0	
	投資活動支出計		297,606,491	360,125,657	△ 62,519,166	
	投資活動収支差額		347,146,009	3,029,138	344,116,871	
III	財務活動収支の部					
1.	財務活動収入					
①	借入金収入	長期借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計		0	0	0	
2.	財務活動支出					
①	借入金返済支出	長期借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計		0	0	0	
	財務活動収支差額		0	0	0	
IV	予備費支出		0	0	0	
	当期収支差額		2,008,541	2,019,527	△ 10,986	
	前期繰越収支差額		48,196,004	46,176,477	2,019,527	
	次期繰越収支差額		50,204,545	48,196,004	2,008,541	

【参考】令和3年度収支予算－島別施設別

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根&レアント	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	261,470	35,808	14,186	18,914	0		0	330,378
	公益販売事業収入	69,459	8,976	11,872	2,980	0		0	93,287
	小計	330,930	44,784	26,058	21,894	0		0	423,666
その他収入	雑収入他	0	0	0	0	0		0	0
事業活動収入計		330,930	44,784	26,058	21,894	0		0	423,666
2. 事業活動支出									
事業費支出		267,284	50,750	37,103	15,864	657		2,341	373,999
事業活動支出計		267,284	50,750	37,103	15,864	657		2,341	373,999
事業活動収支差額	【当期予算】	63,645	△ 5,966	△ 11,045	6,030	△ 657		△ 2,341	49,667
	【前期第2次修正予算】	△ 64,246	△ 26,397	△ 15,304	△ 1,651	△ 3,981		△ 1,616	△ 113,194
	増減	127,891	20,431	4,258	7,682	3,324		△ 725	162,861

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ							
大科目	中科目	犬島	豊島美・森	ボル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	23,470	62,819	9,874	9,443	0	1,267	41	106,914
	公益販売事業収入	15,752	42,737	6,242	1,280	0	494	81	66,585
	小計	39,221	105,555	16,117	10,723	0	1,761	122	173,499
その他収入	雑収入他	0	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収入計		39,221	105,555	16,117	10,723	0	1,761	122	173,499
2. 事業活動支出									
事業費支出		77,989	134,259	11,393	13,948	301	5,101	2,167	245,159
事業活動支出計		77,989	134,259	11,393	13,948	301	5,101	2,167	245,159
事業活動収支差額	【当期予算】	△ 38,768	△ 28,704	4,724	△ 3,225	△ 301	△ 3,340	△ 2,045	△ 71,660
	【前期第2次修正予算】	△ 67,120	△ 70,986	△ 3,195	△ 8,830	△ 320	△ 2,347	△ 2,095	△ 154,893
	増減	28,351	42,282	7,919	5,604	19	△ 993	50	83,233